

# 委員会

## 常任委員会の活動

総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会



### 産業厚生 町 にとって必要な施設 特別養護老人ホームへの支援

建設場所の変更、支援金額、財源について、町執行部より説明を受けました。

当委員会としては、支援金に対する町民の理解、1企業からの寄附金を支援金にまわすことの是非等、さまざまな意見を述べました。結果として、目前まで迫っている高齢社会、町の財政状況、町民の思い、雇用の創出、コスト面、経営のノウハ

ウ等を考慮し、さらには郡内8ヶ町村のうち、「特老」がないのは広野町の他に葛尾村だけであることを踏まえ、

町にとって必要な施設であるということで一致しました。

ただし、支援金については、今回提案された2億4600万円の目として、確約を取り付けるよう申し添えました。

### 産業厚生 緑 地面積の割合を縮減 工場立地法の特例措置

さらなる産業集積と企業誘致を促進するため、工場敷地内の緑地面積割合を20%から10%に縮減できるように特例措置を設けます。

当委員会としては、厳しい経営状況下で敷地を有効に活用したいという企業もあることから、やむなしとの考えに至りました。

### 産業厚生 加 工機器の購入は慎重に 農産物加工施設整備事業

農産物加工施設の整備にともない、農業振興策、地域活性化推進協議会の取り組み、製造加工の収支計画等が示され、整備後は企業組合を立ち上げて運営

していくとの説明を受けました。委員会としては、今後も地域活性化推進協議会の動きを見守っていきます。

### 産業厚生 介 護保険料は現行どおり 第4期介護保険事業計画

平成21年度から、平成23年度まで、3ヶ年の保険料については、介護給付費準備基金を

取り崩し、現在の第3期と同額にしたいとのことでした。

## 部分林の対応に関する調査特別委員会

平成21年1月26日 開催

委員会が発足してはじめての調査にあたり、本町公有林の収益を分取するために部分林の設定となった、昭和39年に制定された広野町公有林野管理条例および広野町公有地貸付ならびに部分林設定規則について、町担当者より説明を受けました。

この条例に基づいて契約された41件の部分林の契約期間が満了することから、委員会としては、今後町の対応策を検証しながら調査を行ない、意見の集約をはかっていくこととしました。

総務文教

## 全施設・全備品を無償貸与 国際人育成事業

継続事業として進められている「サッカーによる国際人育成支援事業」のサッカー支援

センター増築工事に関しては、3月18日まで延長したところですが、1月末の進捗率は70%であり、工期内完成に向けすべての工事が進められていました。

一方、支援センター備品購入に関しても発注済であるとのことでした。

また、JFAアカデミー福島の4期生は、男子15人です。

これまで、地域において生徒をサポートする協議会が発足するなど、町民の皆さんにはホームステイ等で協力をいただいているところですが、さらなる協力体制の強化をはかりたいとのことでした。

国際人育成支援事業により、建設もしくは購入した財産について

は、すべての竣工を見たいと、今までどおりJFAアカデミー福島に無償貸与することでした。

これに対し、委員会としては、財産の貸付に当たっては、今後の維持管理にともなう責任と費用の負担を明記するよう要望しました。さらに、現在ボランティアとしてご協力をいただいているサポートファミリー協議会に対し、何らかの支援策を検討する時期に来ていると提言しました。

### 産業厚生

## 目標数量は前年度と同様 平成21年度産米の生産目標

目標数量は、前年と同じ91万7289kg（約1万5288俵）で、作付面積は186万627㎡（約186ha）です。

それに対する配分率

は、水田面積20a未満は、100%、20a以上は61・5%、認定農業者・担い手農業者67・7%です。

# 委員会報告

## 状況を報告します。

平成21年2月9日 開催

平成21年2月12日 開催



耕作作業が始まった水田（下浅見川地区）

### 産業厚生

## 路

### 町道認定路線 線の見直しは慎重に

「荒神山・後川原線」「大船線」「中央台5号線」「久保・北釜線」「大谷内・高倉線」6路線を廃止して「苗代替1号線」「関山・寺所線」の2路線を認定し、「北釜住宅線」「岩沢・二ツ沼線」については、区域変更したいとのことでした。

このうち、新たに認定する「関山・寺所線（ふるさと農道）」については、「農道であるならば」と土地の提供に依じてくれた地権者もいることから、それらの意見も踏まえて慎重に進めるよう提言しました。



男子寄宿舍増築工事現場を視察